



帆保さんは、朝は5時に起きて白川の河川敷を牛と一緒に回って運動をするなど、高い品質の牛を育てています。「牛もこちらがかわいがあってあげないと恩返ししませんからね」と目を細めます。

数々の共進会で賞を取り続けているのも帆保さんが「熊本の牛を日本

11月6日に熊本県畜産市場で行われた第8回ふれあい畜産まつりで帆保新次さんの牛が見事グランドチャンピオンに選ばれました。8回中、2回目のグランドチャンピオン。共進会などでは常に注目されている帆保さんが畜産を始めたのは中学校を卒業してからすぐのことでした。家は昔からの畜産農家でした。4代目となった新次さんは以来ずっと畜産を続けてきました。

かわいがってあげないと恩返しもしてくれませんよ



帆保 新次さん
Tetsuiko Hoho

「一の牛にしたい」と願っているため。「和牛のオリンピック」といわれ、5年に1回開催される全国和牛能力共進会が平成27年に宮崎県で開催されます。その時までに「追いつけ、追い越せ熊本日本一」をスローガンに頑張りたいと帆保さんは話します。

子どもたちが家を離れ、孫の斎藤俊昭さんが畜産を始めています。69歳にしてすでにひ孫がいるという新次さん。家族のきずなと牛への愛情で、熊本の牛を日本一に導きます。



最近の情報化社会は進化が目まぐるしく、多彩な情報を取り入れることができるようになりました。ブログやツイッターなどが広がったことで離れていても友人の状況が分かるようになりました。

土井浩昭さんの妻、美代子さんは口蹄疫の影響で大変だった宮崎の友人の状況をブログなどで見ていました。その悲惨な状況は涙無しには見ることができなかつたそうです。

「感染の拡大を防ぐため、同じ畜産農家同士で出入りを控えていたから電話しかできないんです」当時を思い出して話す美代子さん。胸の詰まるような辛く悲しい思いが伝わってきます。



命の大切さが分かるから、愛情を込められる

リーマンショックが始まった不況、そして今回の口蹄疫。熊本県での感染はありませんでしたが、市場が閉鎖されたことで収入は無くなり、その間の費用だけはかかります。問題はそこだけではなく「熊本で発生するかもしれない」「いつまで続くのか」と言った精神的な不安でした。その不安は終息宣言が出た今でも続いていると言います。

「口蹄疫の影響で殺処分される牛たちの命はむくわれたいですね」と浩昭さんは肩を落としました。犬を2匹、猫を10匹飼っている土井さん。2人とも子どもたちから動物が大好きだったと言います。「愛情を込めて育てています。安心して大津の牛を食べて欲しいですね」と話す浩昭さん。この2人の愛情があるなら牛たちも幸せに違いないでしょうね。

土井 浩昭さん 美代子さん
Hiroaki Doi Miyoko Doi

熊本県内畜産ベスト5

熊本県畜産統計より(平成21年12月31日調査)

乳用牛				肉用牛				豚			
順位	市町村名	戸数	飼養頭数	順位	市町村名	戸数	飼養頭数	順位	市町村名	戸数	飼養頭数
1位	菊池市	173	10,585	1位	菊池市	279	36,941	1位	菊池市	54	69,250
2位	合志市	77	4,333	2位	阿蘇市	370	9,961	2位	天草市	35	40,640
3位	熊本市	54	3,261	3位	南小国町	66	9,541	3位	植木町	20	32,796
4位	大津町	30	2,430	4位	人吉市	132	8,220	4位	阿蘇市	13	29,855
5位	あさぎり町	44	2,429	5位	大津町	95	7,115	5位	大津町	16	22,085

大津町の畜産業

畜産とは、牛や豚などの家畜を飼育して、肉や牛乳などの乳製品を得ることです。大津町の肉用牛、乳用牛、豚の飼養頭数は県内でもベスト5以内に位置しています。牛だけでも肉用牛と乳用牛どちらも盛んな市町村は少なく、わたしたちの町は、畜産が盛んであると言えます。

大津の自然豊かな土地で多くの牛や豚などが生きています。

繁殖農家と肥育農家

肉牛の畜産農家は主に2つに分けられます。繁殖農家と肥育農家です。繁殖農家とは、牛を妊娠から出産まで見守り、生まれた子牛を数カ月育て、「セリ」にかけて売りに出す農家です。肥育農家とは、「セリ」に出された牛を購入して、飼料を与えて大きくなるまで育てて出荷する農家です。

同じ牛を扱う農家であっても内容は大きく違います。今は繁殖と肥育を一緒に行う農家も増えていますが、この二種類の農家の努力が重なって、素晴らしい大津の牛が生まれ、育っているのです。